

1

新聞委員の宮本さんたちは、学校新聞をよりよくするために、四月に発行した学校新聞に対する六年生の意見をカードに書いてもらいました。そして、同じような意見が書かれてあるカードのまとめりを作りました。次のA・Bは、同じまとめりの中から取り出したカードです。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【同じまとめりの中から取り出したカード】

A

学校新聞には、写真を入れたほうがよいと思います。四月号は文章ばかりで、読みたいという気持ちがありませんでした。

B

四月号の学校新聞は、書いてあるできごとの様子がくわしく分かりませんでした。だから、写真をのせればよいと思いました。

(問い) 宮本さんは、AとBの二つのカードの内容をノートに整理して、考えたことを書き
ました。
ア ・ イ
の中に入るふさわしい内容を、それぞれ書きましょう。

【宮本さんのノートの一部】

〔二つのカードの内容〕

AとBのカードはどちらも、
学校新聞をよりよくするには、
「ア
」
という方法がよいと考えている。

Aのカードでは、
「読みたいという気持ちがあまり起こらない」
ということを問題にしている。

Bのカードでは、
「イ
」
ということを問題にしている。

〔考えたこと〕

◆ AとBが問題にしていることにはちがいがあがあるが、方法はとてもよいと思う。五月号の
新聞作りに生かすために、新聞委員のみんなで話し合うことにする。